

厚生年金基金資産運用業務報告書
(平成25年度)

厚生労働省年金局企業年金国民年金基金課
平成27年5月

厚生年金基金資産運用業務報告書について

【概要】

厚生年金基金は、毎事業年度、年金給付等積立金の管理運用業務についての報告書を作成し、翌事業年度9月末日までに、厚生労働大臣に提出しなければならないとされている。（厚生年金基金規則（昭和41年厚生省令第34号）第56条第2項）

【対象基金数】

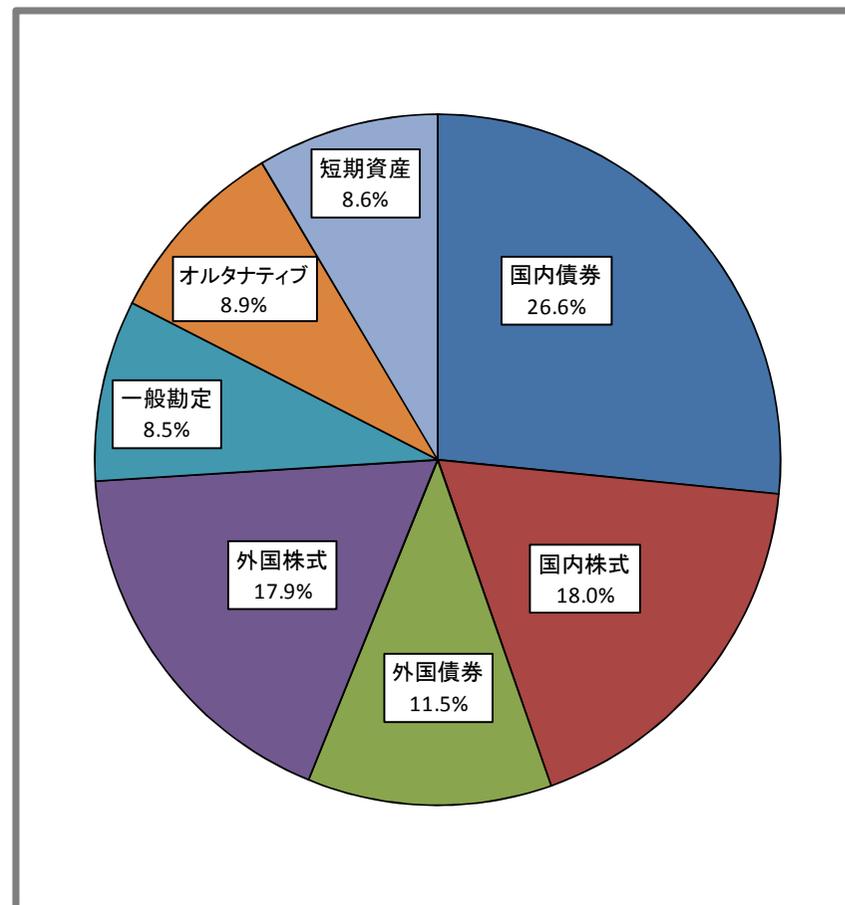
531基金（平成26年3月末現在）

厚生年金基金の運用資産別残高及び資産構成割合(平成26年3月末)

平成26年3月末における厚生年金基金の運用資産残高総額は、19兆916億円(昨年度末と比べ1.0兆円の増)となりました。

また、資産構成割合は、国内債券26.6%、国内株式18.0%、外国債券11.5%、外国株式17.9%、一般勘定8.5%、オルタナティブ8.9%、短期資産8.6%となっています。

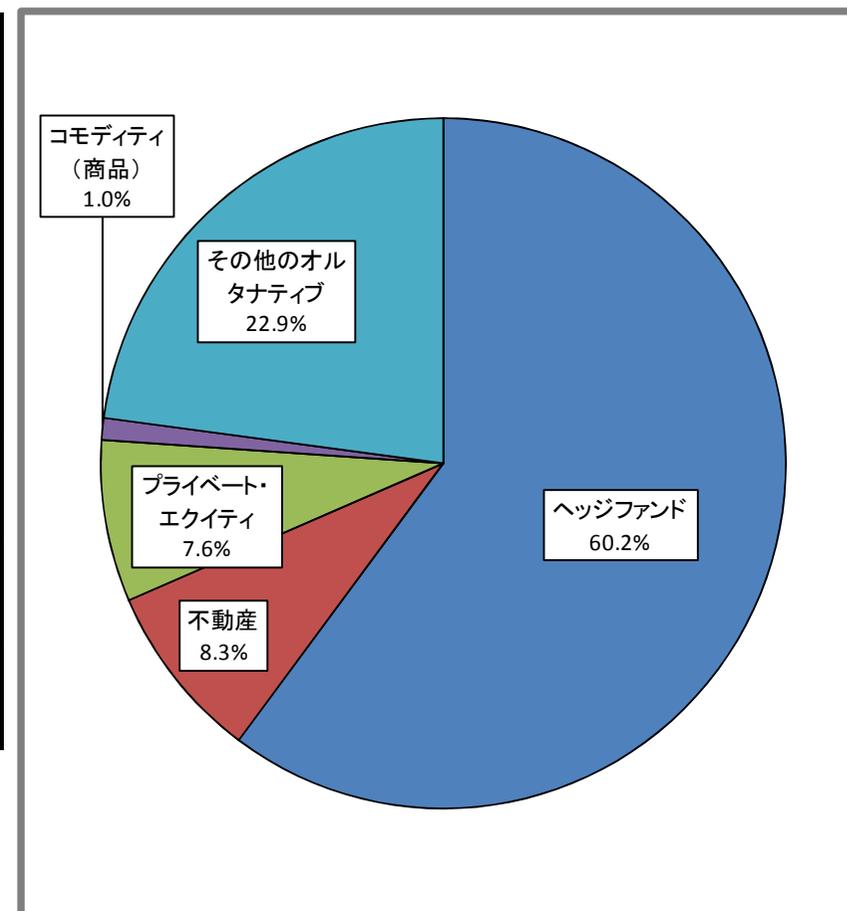
	時価総額(億円)	資産構成割合(%)
国内債券	50,754	26.6
国内株式	34,444	18.0
外国債券	21,989	11.5
外国株式	34,120	17.9
一般勘定	16,182	8.5
オルタナティブ	17,083	8.9
短期資産	16,343	8.6
合計	190,916	100.0



厚生年金基金のオルタナティブ投資の割合（平成26年3月末）

平成26年3月末における厚生年金基金のオルタナティブ投資の資産残高は、約1.7兆円となりました。そのうちの約60%がヘッジファンドへの投資となっています。

	時価総額(億円)	構成割合(%)
ヘッジファンド	10,282	60.2
不動産	1,421	8.3
プライベート・エクイティ	1,294	7.6
コモディティ(商品)	174	1.0
その他のオルタナティブ	3,911	22.9
計	17,083	100.0

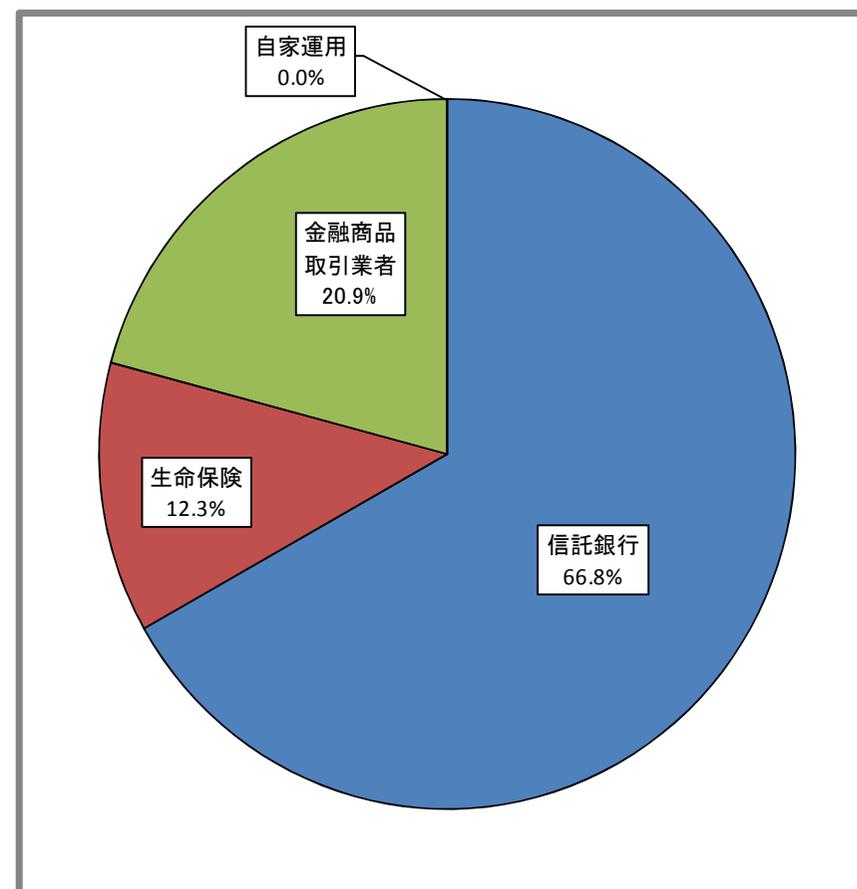


(注) その他のオルタナティブとは、ハイイールド債、CLO、CDO、インフラストラクチャー、保険リンク証券、マネージドフューチャーズ、その他が含まれる。

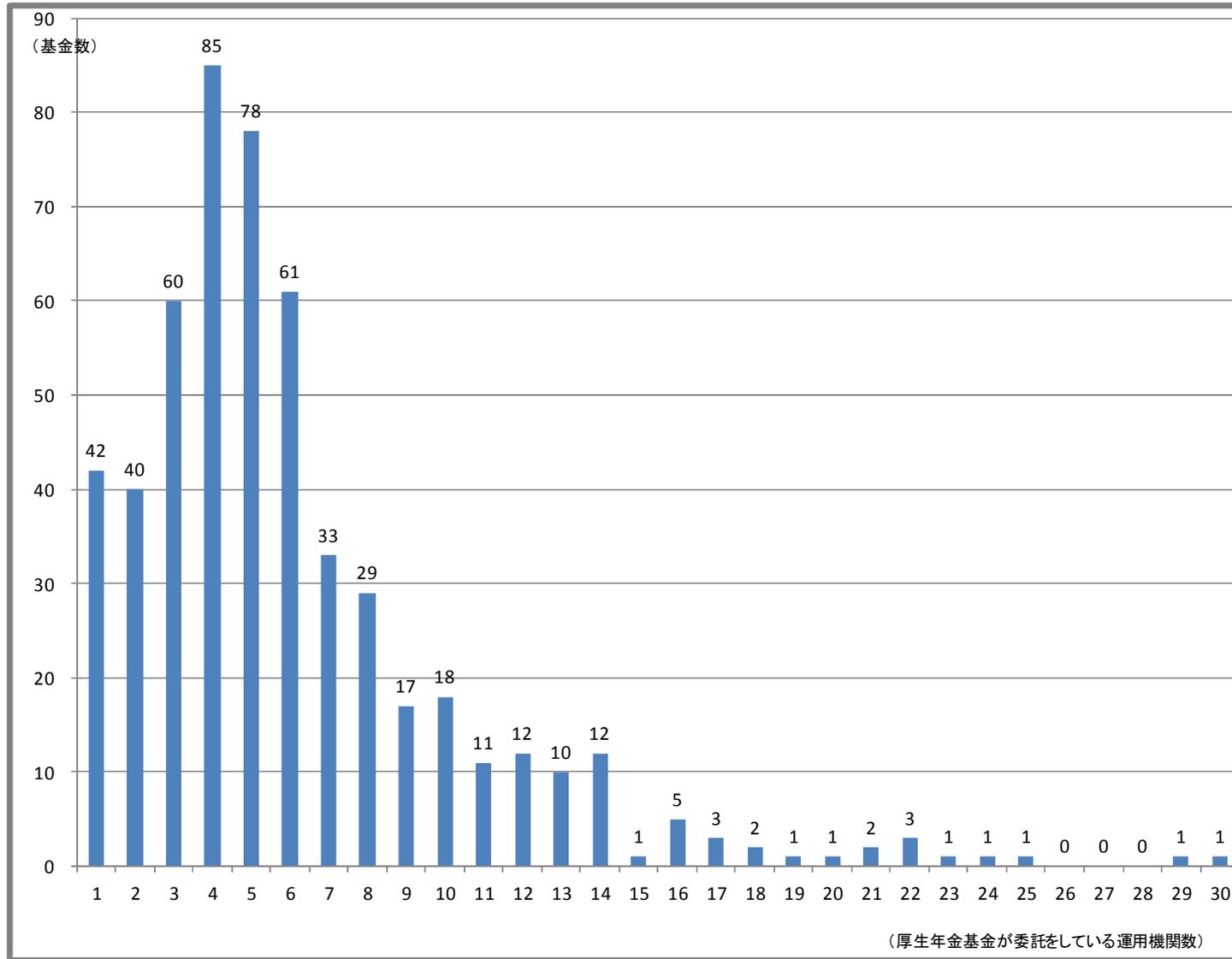
厚生年金基金の運用機関別資産残高及び構成割合(平成26年3月末)

平成26年3月末における厚生年金基金の運用機関別資産残高は、信託銀行が約12.8兆円、生命保険が約2.4兆円、金融商品取引業者が約4.0兆円となりました。

	時価総額(億円)	構成割合(%)
信託銀行	127,580	66.8
生命保険	23,525	12.3
(注)金融商品 取引業者	39,809	20.9
自家運用	3	0.0
合計	190,916	100.0

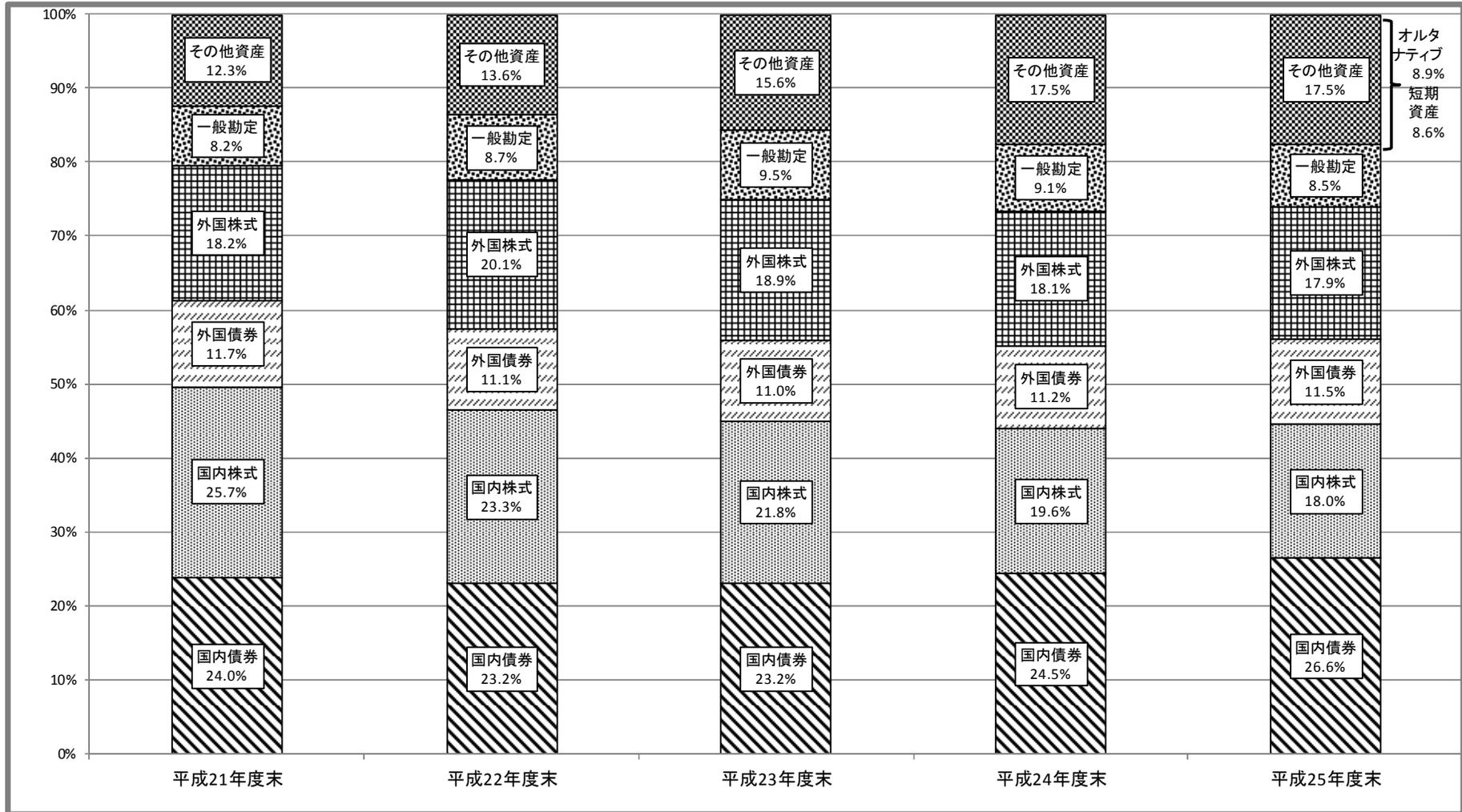


各厚生年金基金が委託している運用機関数(平成26年3月末)



運用機関数	基金数	割合
1社	42	7.9%
2社	40	7.5%
3社	60	11.3%
4社	85	16.0%
5社	78	14.7%
6社	61	11.5%
7社	33	6.2%
8社	29	5.5%
9社	17	3.2%
10社	18	3.4%
11社	11	2.1%
12社	12	2.3%
13社	10	1.9%
14社	12	2.3%
15社	1	0.2%
16社	5	0.9%
17社	3	0.6%
18社	2	0.4%
19社	1	0.2%
20社	1	0.2%
21社	2	0.4%
22社	3	0.6%
23社	1	0.2%
24社	1	0.2%
25社	1	0.2%
26社	0	0.0%
27社	0	0.0%
28社	0	0.0%
29社	1	0.2%
30社	1	0.2%
合計	531基金	100.0%

厚生年金基金の資産構成割合の推移(過去5年間)



(注) その他資産には、ヘッジファンド等のオルタナティブ投資が含まれる。

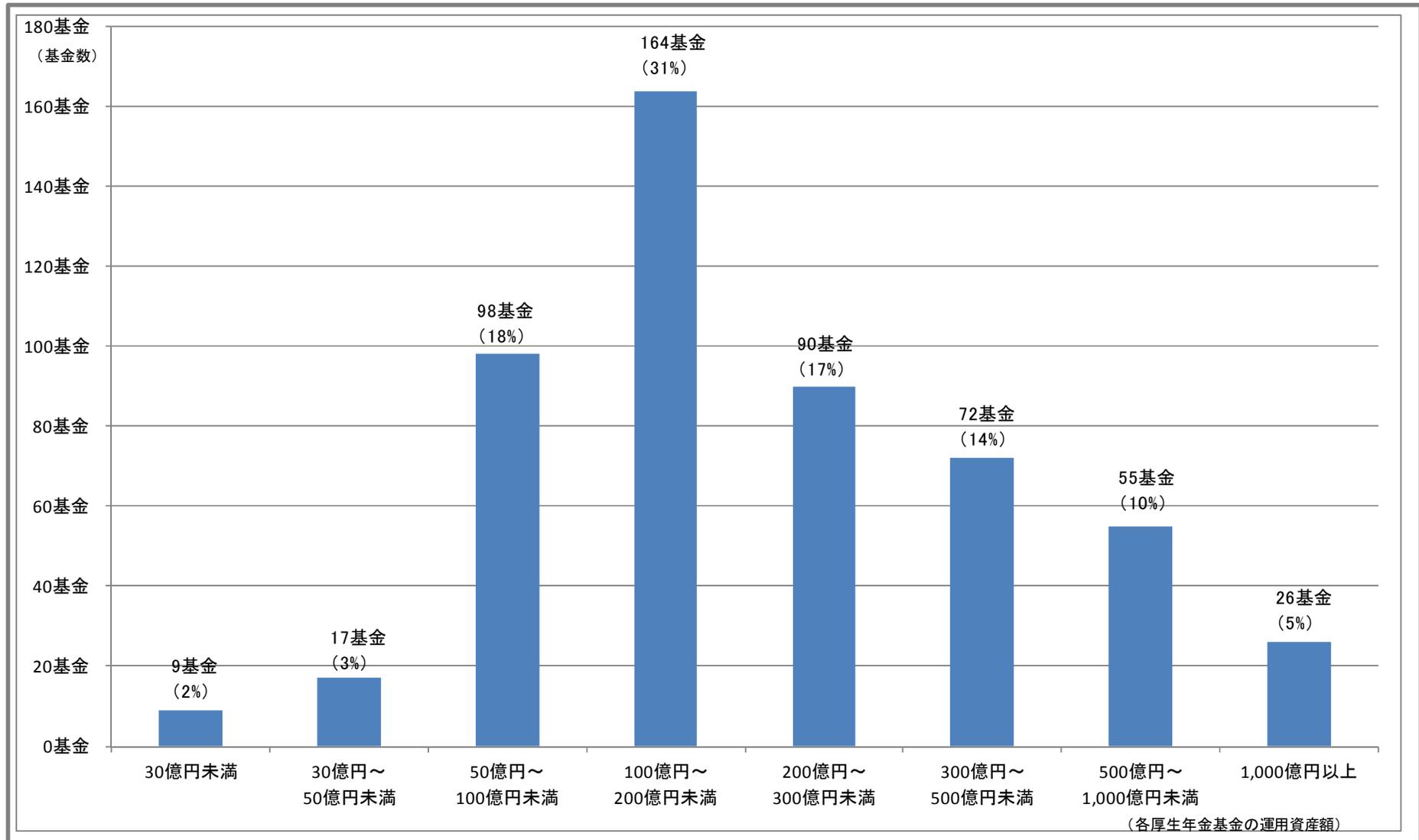
厚生年金基金の運用資産残高及び資産構成割合の推移(過去5年間)

(単位: 億円、%)

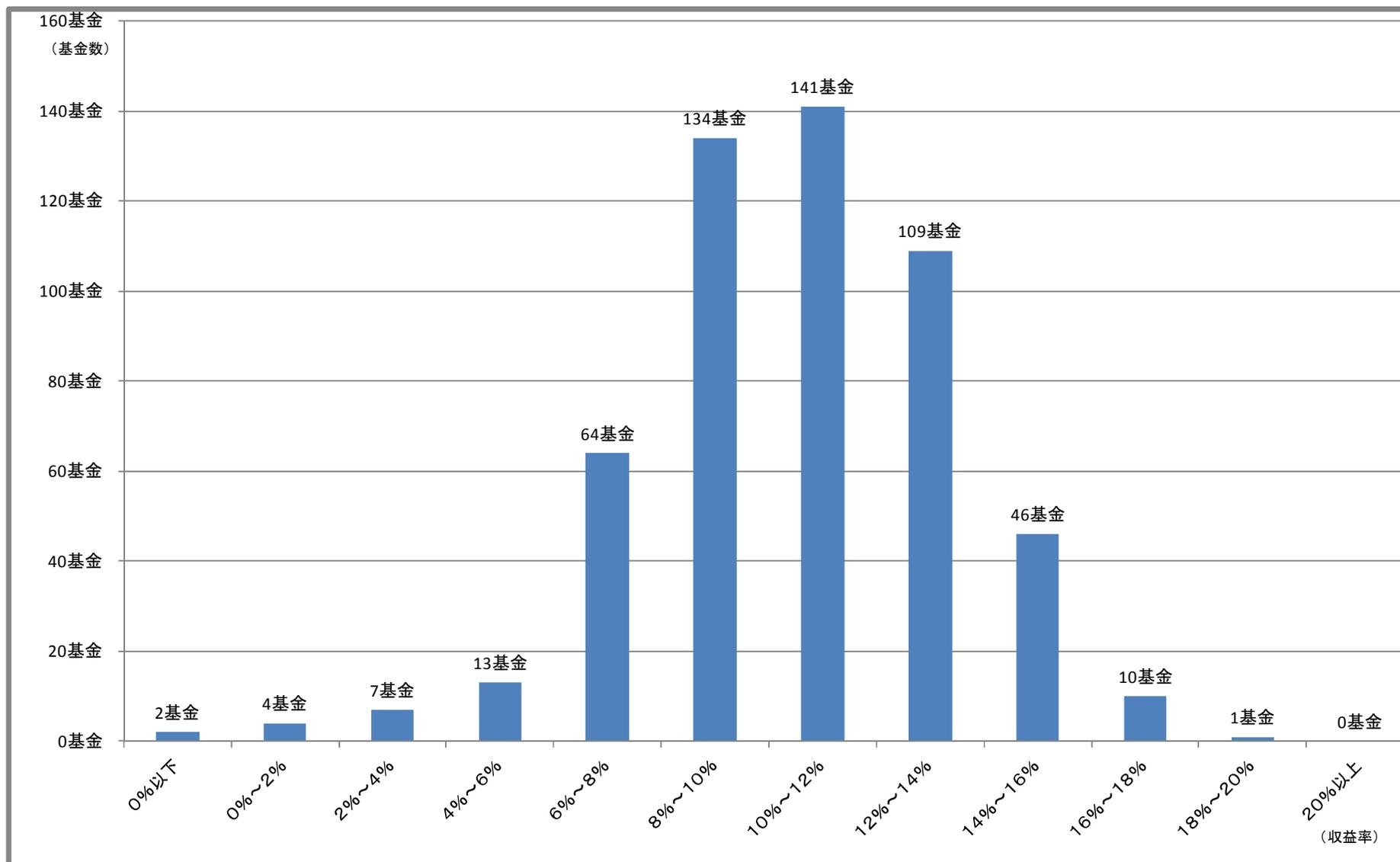
	平成21年度末			平成22年度末			平成23年度末			平成24年度末			平成25年度末		
	時価総額	資産構成割合	基金数	時価総額	資産構成割合	基金数									
国内債券	44,208	24.0%	589	41,247	23.2%	579	39,574	23.2%	559	44,228	24.5%	537	50,754	26.6%	494
新株予約権付社債	5	0.0%	1	6	0.0%	1	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0
国内株式	47,326	25.7%	602	41,452	23.3%	591	37,298	21.8%	567	35,498	19.6%	538	34,444	18.0%	503
外国債券	21,509	11.7%	595	19,713	11.1%	584	18,765	11.0%	559	20,233	11.2%	530	21,989	11.5%	499
外国株式	33,529	18.2%	595	35,682	20.1%	589	32,268	18.9%	566	32,739	18.1%	535	34,120	17.9%	500
一般勘定	15,027	8.2%	421	15,561	8.7%	415	16,242	9.5%	396	16,533	9.1%	389	16,182	8.5%	323
(注) その他資産	22,696	12.3%	604	24,181	13.6%	594	26,563	15.6%	577	31,605	17.5%	558	オルタナティブ 17,083	8.9%	327
													短期資産 16,343	8.6%	523
資産合計	184,299	100.0%	608	177,842	100.0%	595	170,710	100.0%	577	180,838	100.0%	560	190,916	100.0%	531

(注) その他資産には、ヘッジファンド等のオルタナティブ投資が含まれる。

運用資産額規模別の厚生年金基金の分布(平成26年3月末)



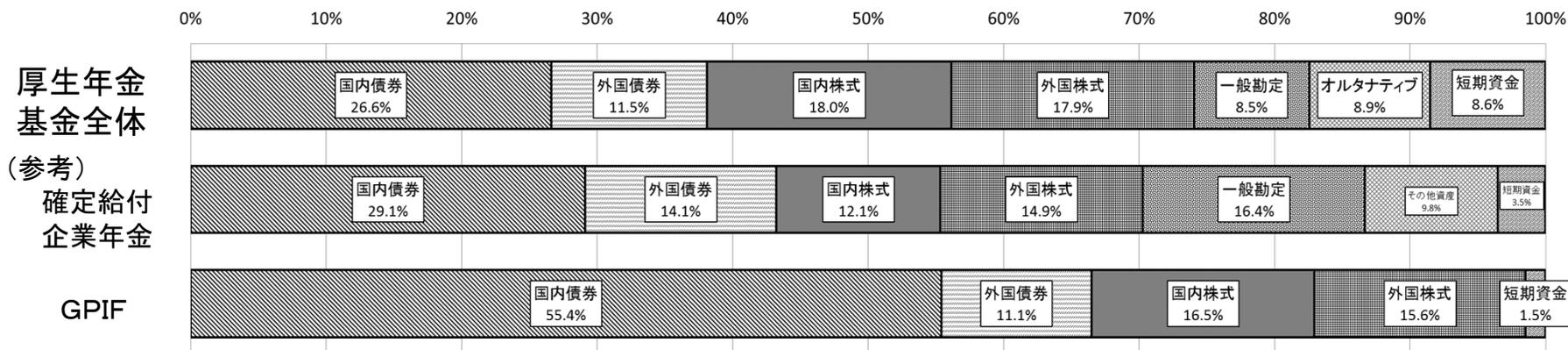
各厚生年金基金の収益率(総合修正利回り/時間加重収益率)の分布(平成26年3月末)



(参考) 厚生年金基金の資産運用について

厚生年金基金の資産運用は、加入員等の受給権を保護し、また、基金が公的年金の一部を代行していることを踏まえ、リスク管理に重点を置きつつ、安全かつ効率的に行っていくことが必要であり、基本的に「外部積立」による「分散投資」と「長期的な基本ポートフォリオ(政策的資産構成割合)の策定・管理」に基づいた運用が求められている。

1. 厚生年金基金等の資産構成割合



(注) 厚生年金基金全体は「厚生年金基金資産運用業務報告書(平成25年度)」、確定給付企業年金は「企業年金に関する基礎資料 平成26年12月(企業年金連合会)」、GPIFは「平成25年度業務概況書(年金積立金管理運用独立行政法人)」の数値によるもの。

(注) 確定給付企業年金の「その他資産」は、不動産・プライベートエクイティ等である。

2. 厚生年金基金等の運用利回り

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	5年平均 (H21'~H25')
厚生年金基金全体	15.48%	-1.00%	1.33%	12.21%	10.43%	7.50%
(参考) 確定給付企業年金	13.23%	-0.17%	2.18%	10.45%	7.75%	6.57%
(参考) GPIF	7.91%	-0.25%	2.32%	10.23%	8.64%	5.69%

(注) 厚生年金基金全体、確定給付企業年金は「企業年金に関する基礎資料 平成26年12月(企業年金連合会)」、GPIFは「平成25年度業務概況書(年金積立金管理運用独立行政法人)」の数値によるもの。

(注) 各年度末による修正総合利回りである。